

AI & MAI V



R-18



おあ...
誰か... 助...

うわ...

わ...

わ...

わ...

わ...

わ...



...おあ...
おあ...
おあ...



ほんに... 我...
おイ月... 過...
...
...





いませぬ…
お前達にシトを運んて来力
の仕あまりに運んてな



淫魔七支天
金剛



ほんの数ヤンばかり
喰ちうえしき、た



淫魔七支天
銀龍

淫魔神皇
月詠ヨシ

よん来たのう？

天津燕衣：左ん
天津麻衣よ：||
..





…ひ、酷い…



…何んことを…



…こゝろはオレん、お前達に
構はたこじや…



…聞くんばよ…天津の姉妹よ…
この声はお前達に…
聞えんおらぬ…



そくに殺せ、んおろぐミオを
利用した…と言ふ理ゆい

あの結界に、我が手つけ
入るこゝろが出来ぬ心の…





「間は消んを心な…
二のちを餌にんを良…に
…」

「よしよし、助けたにこぬ…うのたさ
…これれらよ者のイマウ…」

「従…んもらあ…
い…たいの依振は解たぬ
…良…行…」

「チキッ」



んふふ：なれなれ
かりますねえ：この新巻に

私ねがわいね
ないんだ...

へいん果らあろこけ：
たにいたもの心す



もう、お姉様達に
牙を思いつけ……

たて行い
……
||
……



「残念に、私の肉体は
特殊心……わ……」

……OT……





こころは、姿形也

と云ふ：舞の時間の始まり
心す……愛しおすわえ……

ぢやう

こころ

……

自在に愛えられるの
心すよ

ぢやう……





あおのたんが
たぬ...

キ

ふり



お、本気だ...

お、本気だ...

あう...





後者の見えない方前
と姓前をす方のけ...

は、は、は...

たか気持が良けりう
...は、は、は... !!

お、お、お

は、は、は...

は、は、は...



これと心果んがけ
情けな...

またまた見世物け
終わらぬを...

はあ...

う...

はあ...

はあ...



...と、こゝろを楽しませよ、おんれ...

あ
あ...

あ
あ...

あ
あ...

あ
あ...

あ
あ...

あ
あ...

あ
あ...

あ
あ...

あ
あ...

あ
あ...



おあ

おあ

おあ

おあおあ

お生女だ!!

おあ?

…は…は…
も…を…上げよ…

強か…を…者の目の前…
恥…を…晒…



九の赤子往を二果ん方ハ
よー……！！



……いんちやねえ……
丸の鞠々……んんん……

ハ
ニク……

操の香りだ
アソソソ……んんん……
……んんん……

はあ

はあ……

A1&MA1 ~ 天界編 V ~

※ いよいよ前半戦のクライマックスです。感想としては、ハート...
ニこまて来たか...という所ですわ...

戦リニ体の七支夫、そして、悪の権化、月詠が登場し、
これに主要なキャラクタ-にほげすべし出揃いましたわ
後半戦は、いよいよ天界に。人智を越えた“神々”との
戦いに臨んではいます。

元々「亜衣&麻衣」を描いていた頃から、今回の
「天界編」のイメージが膨らんでいて、今それを実現したい
ところこそを奔せたいわ。それこそ皆様の手紙が
あること、たいてい思っています。

ええええ“淫獣聖戦”という作品には、天津家の
母に代わって、また“羽衣のカ”で鬼を討て来た、と
言う設定があるのですね。その詳細については、あおき誘われ
ておらず、はたしてそのルーツはどうか、たまたまのたまたま...という想いが
私を中心に占めてくれています。今の心、原作の方は
昔話で言う所の「羽衣伝説」や「桃太郎」、「一寸法師」の
“鬼退治”がベースになっているのですね。これら昔話の
キャラクタ-は“神の化身、心ある”とされていまして、作品に
登場する“羽衣”もルーツを辿れば、その道はおそらく
天上へ行く方が、いるのだらう...と夢想しています
わね。

今の心、21-11-11に投入しているのは、あつちんが
心で、決いてはあおき心でなく、アケル・シーンに聞かせて
いらして考えています。やはり、責める相手は“人外の者”
ある、と言うことあり、「何心もアリ、今の心、難しい所心もある
のですね。楽しい所心もありますわ。 今回の、姉妹への
“衆人環視による空中本番(笑)”は、ファンの方の意見を参考に
したもので、男性陣に意識が向かたり、操られて、ホレ
...というのを知りましたわ。正常な状態の若達の衆目にさらされた
中心の毎通アケル...というのを知っていますわ。



AI&MAIV~天界編~設定集

【月詠】

※このシリーズの“闇”を象徴する
キャラクターなの。かなりの時間を
かけた。何回も描き直したわ。
天界編の構想と共にデザインを
始めましたわ。ギリギリまで決まり
ませんでした。

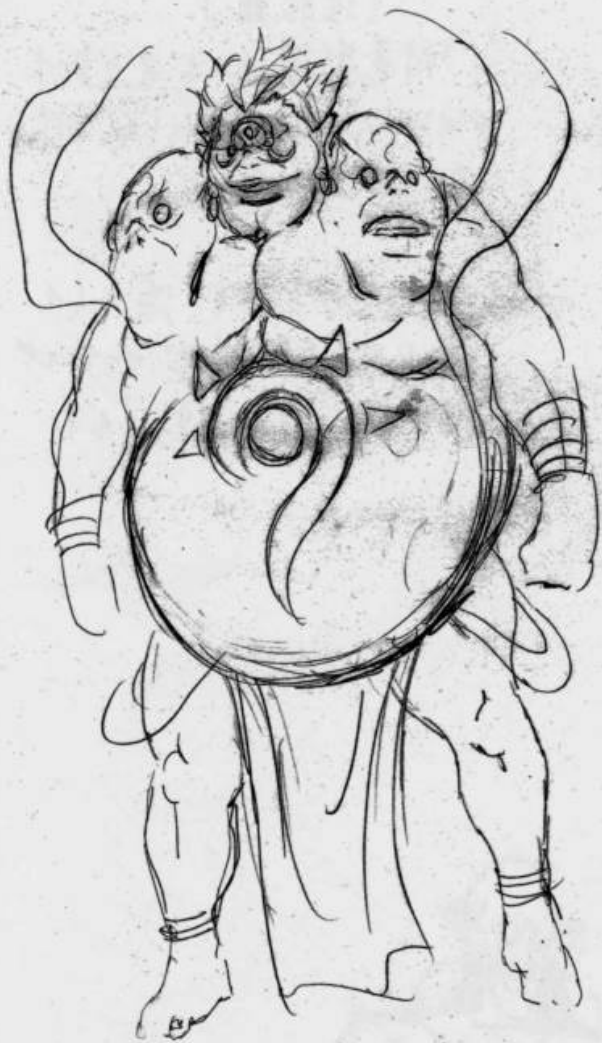
【月詠】



【月詠】



※ベースは神夜と同じ銀髪と黒地の
眼。元々大妖怪の“九尾の狐”を
イメージしています。



〔金剛. 銀龍〕

* ボスに真ん中にいて、両脇を
 下付の心固める。と言う構図が
 遠くなるだろう。と思、いて、それを
 ストレートに再現してみました。

コンセプトとしては、とにかく
 “得体の知れない”感じの表現
 をするね。二人の心浮かぬ味だ。
 それ、恐いだろうという... = 視覚的
 な恐怖を... するね。 今の心。
 動かしにくいあまり考えません。



インテ “ベルセルク” のラストの、あの
 “絶望的恐怖” の描き方がすごく
 頭に残、いて、自分も凡人なりにぞ、
 めたい、と思、いますね... (無理心持た)

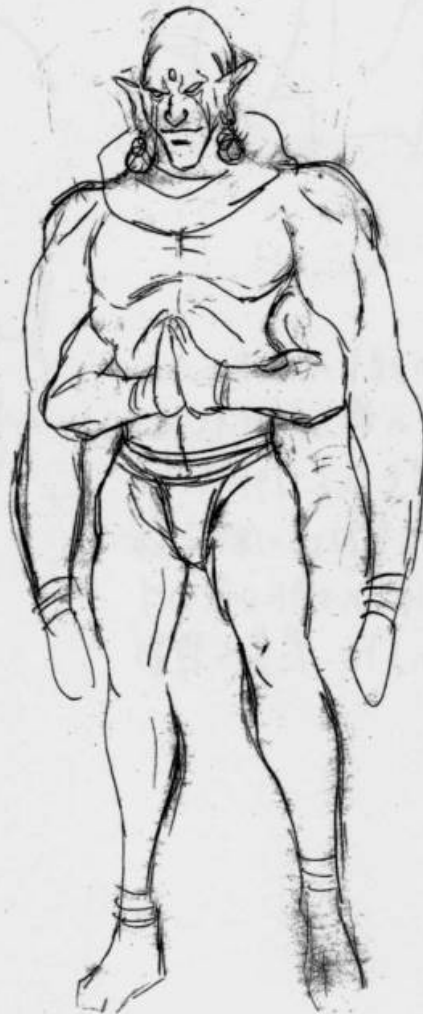
と存外に、三人は元の場にいるわけ
 ではない、ホッとするように、思念を投影
 している感じですね

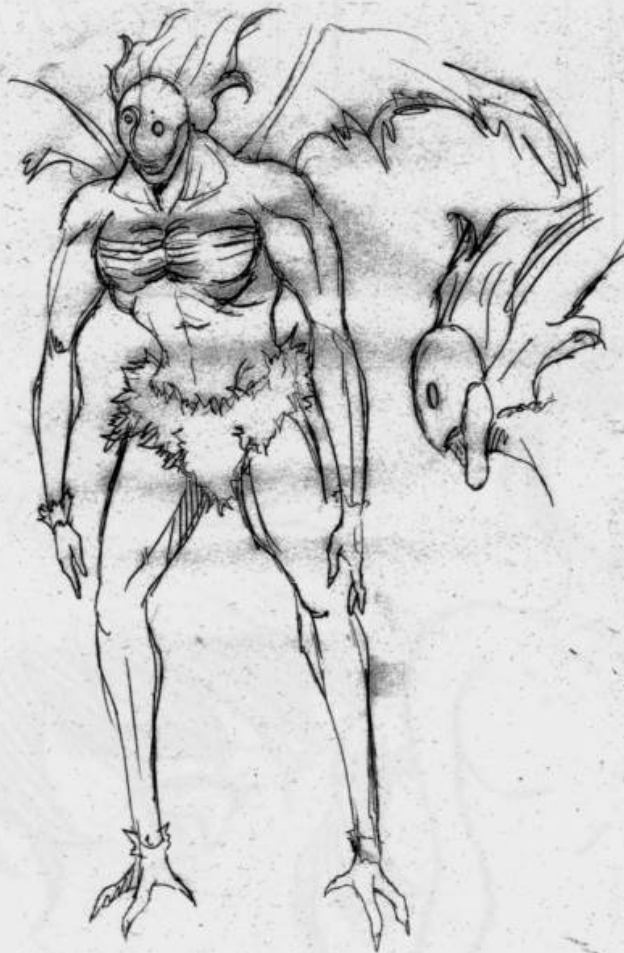


〔淫奴羅〕

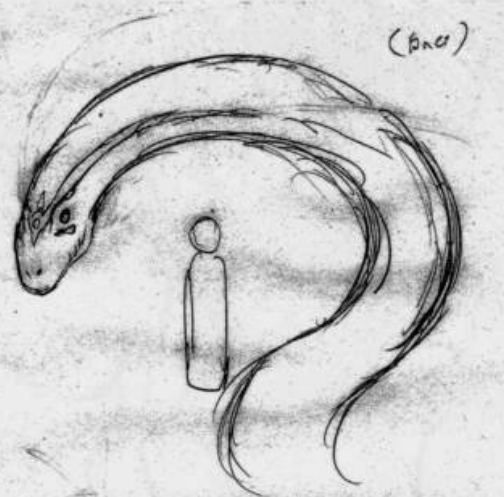
※「対美影用」に、エ.元々あま
り「インナー」ボツにして、新作に
揃え起こした。

※体をワウのように溶かし
自在に愛されるの心. インナー
ファンに出来しおの心す。





〔その他いろいろ〕
 ※羽付き淫魔は、姉妹の空中飛行
 習得するね。"空の上でのまな板ショー"を
 や、たのしいかなと考へておきた。



甲 本当は時代劇のよき。月詠が
 けづに乗って登場。おたひを考へて
 いましたね... おおじいさんに乗るから、たのび
 ないアヒルに乗せました。

乙 銀龍のボツ案。当初は神話の
 "ポセイドン"を意識していました。

AIN & MAI VI



〔奥付〕

〔発行〕

太陽出版株式会社

〔発行日〕

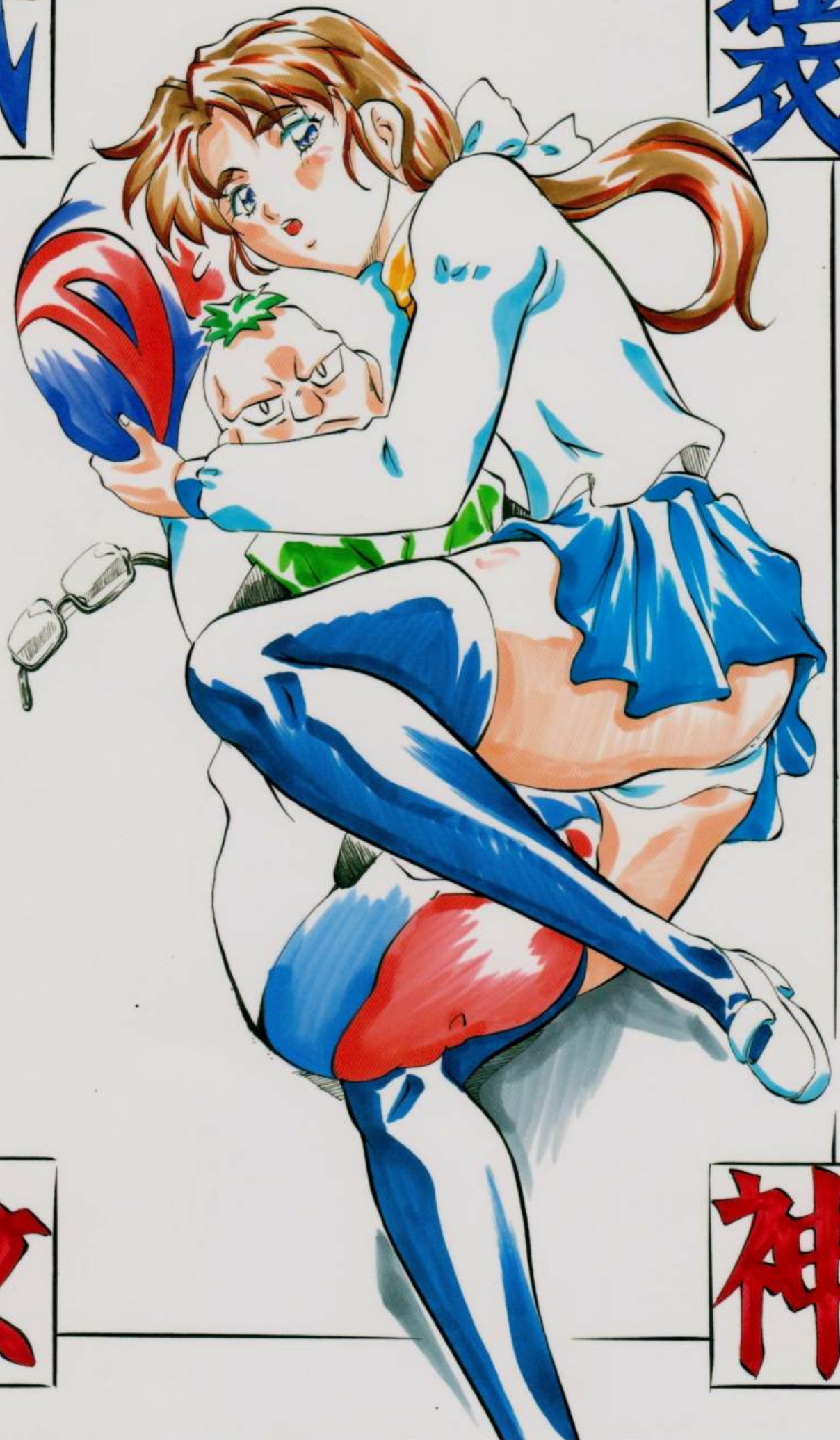
28年 2月20日

〔著〕

神無月 八人 (武装女神)

武

装



女

神